



自由選択

科目選択もいよいよ大詰め?であるが、当然のことながらまだ迷っている人もいる。

自分が大学で何を勉強したいのか?とか、将来どんな職業に就きたいのか?といったことは、やはり「これがやってみたい!」という方向で決めたいものだが、大学入試というのは目の前の「現実」であって、「夢」を実現していく過程で実際に乗り越えていかなければならないものである。だから、入試に関する選択に当たっては、「これがやりたい!」ではなくて、「これは無理だろう…」みたいな発想で決めていくのも仕方ない部分があると思う。その辺のバランスをよく考え、さらに自分の性格も踏まえた上で、最終的な決定をしたい。

文系の諸君は、センターで必要になる「基礎」理科2科目を何にしたらよいのかで迷っている(まだ決まっていない)人が結構いる。1年次の生物や地学、今学習している化学や物理が、それぞれ「基礎」の範囲を超えた内容になっていることは、先日の説明会でも明らかになった。では、実際のセンター試験がどの程度の難易度になるのか? そのイイ判断材料になるのが2日(土)の模試である。当日、実際に解いて提出できるのは2科目だけだが、問題冊子には全科目が掲載されているので、もし迷っている科目があったら、復習の時にその科目の問題にも目を通してみるとよいだろう。

理系の諸君は、同じくセンターで必要となる地歴・公民の選択で迷っている人が多い。何人かの人には面接時に紹介したが、今年9月に行われた駿台のマーク模試(3年生が受

験)をもとにして全国の理系受験者の選択数を示すと、地理が86400人、倫政が11800人である。これを見ると地理が圧倒的に多いことが分かるが、そのせいもあってか平均点では地理の方が低くなる。科目で平均点に大きな差が出た場合は、高度な統計的手法で、平均点が低い科目が不利にならないように処理されるから心配はいらないが、とはいえ、やはり平均点が高いということは、それだけ問題も易しめだろうとは思われるわけで、失敗が許されないという反面、選択したくなるのが人情だろう。午前中には政経の授業が必修になっており、必修である以上、中間・期末考査もある。その勉強を有効に活用する上でも、倫政という選択もありのような気もするのである。ネックは、自選で政経(経済分野)か倫理のどちらかしか選択する余裕がない点だろう。古典などを止めて選択するという手もあるが、センターのみの科目に4単位の時間を選択するというのも(自選にも中間・期末考査がある)考えものである。

3年生の前期までに国数英をある程度完成させ、後期は文系なら社会、理系なら理科に学習の重点を移すのが受験の基本。つまり、来年の今ごろは、文系なら社会2科目、理系なら理科2科目を、その両方で高得点が可能になるよう、ひたすら勉強しているといったイメージである。その合間に、文系なら理科を、理系なら社会をやることになる。そういった状況で、自ら進んで計画的に取り組みそうな科目は何なのか、しっかり考えて後悔のない選択をしよう。先生方に相談できるのも今のうちだ。迷っていたら、ぜひ相談を。